

1 みんなで進める住みよいまちづくり

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(1) 地域コミュニティの充実を図る	額田	額田幼稚園跡地にコミュニティ広場が建設されることになったが、駐車場、トイレ、広場のほかに、コミュニティハウスはできないか。設置されるとありがたい。	高齢の方たちが自由に行き来でき、自由に歓談できる場所が交流センター以外の所にあってもよい。
	菅谷	自治会制度を廃止することが必要。60%程度の加入率では、地域を守れない。	
	菅谷	自治会の運営上、高齢化に伴い班長の役割ができない方が出てきている。	
	菅谷	菅谷地区の充実のため、那珂市の顔を成すような施策を考えてほしい。 ・人と人との関わりを大切にすること ・コミュニティセンター ・自治会への加入(市としてできるサポート)	・市の職員の積極的な行事への参加。(自治会ごとに)その時に15時ごろ退庁も可能に。 ・役員の成り手と65歳以上になると能力の低下
	菅谷	安心・安全な住みよいまちづくりに防犯体制の充実が重要だが、自治会の防犯灯維持管理費は、予算の1割を占め、大きな経費負担となっている。加入率が6割の現状で、未加入者との公平感の差が拡大し、加入者減少の要因となっている。	市で自治会未加入者から維持管理費を徴収するか、それが難しいのであれば、自治会の防犯灯管理費交付金の増額、防犯灯設置費補助金の増額を検討してほしい。
	五台	全員参加のまちづくり「安心・安全で快適に生活ができる」を目指して活動しているが、活動(推進)する人が偏り、いつも顔ぶりが同じで、すそ野が広がっていない。	自治会やまちづくり委員会の行事を通じて、いろいろな方が参加できるよう、楽しさを前面に押し出し、参加者を多くして、自治会やまちづくり委員会の役割を話し、地域活動への参加を呼び掛ける。
	五台	班を抜ける方が多く、一斉清掃(年2回)の連絡が取れず(回覧が回らない)、不公平が生じている。	年に2回なので、防災無線を活用し、市民全員に連絡する。
	五台	まちづくり委員会等に関係している人が限定しているように思う。若い人(30~40代)の参加を進めたら。若い人の意見を聞く。	・高齢者の参加を進める ・PRをうまくする
	芳野	地域の行事に参加する人が決まっており、どのようにすれば、参加させることができるか。	回覧で行事参加者を募集しても、参加する人が少ない。やはりロコミ募集だと動員数が多いので、組合単位で募集するのが良いのではないか。
	芳野	ふれあいセンター等にインターネット環境をつくり、高齢者や子どもたちが遊べる環境づくりが必要だ。	
	瓜連	地域で安心して暮らすことができる環境づくりについて 人間として生命を大事にする社会について話し合える環境をつくってほしい。	・転入手続きをする時、窓口で「班に入りますか」という質問を市がするのではなく、班に入って地域の人と支え合っていないと社会生活は成り立たないということを知らせて、班に入るように勧めてほしい。 ・家を建てる時、近所にあいさつもしないで堂々と長期間迷惑を掛けられるのは、先住者としてはがっかりだ。あいさつをするよう指導してほしい。
	瓜連	区長制度から自治会制度になって約5年。仕事量は区長制度と変わらない。しかしながら、私の自治会長の報酬は1/3に減じている。また、自治会間の報酬は公平性に欠ける。私は奉仕の気持ちで対応しているが、市職員の給料引き上げを見ると、じくじたる思いがある。	・市においては、自治会長の仕事量を単位ごとに計算し、それに見合った報酬を支払うべき。 ・自治会ごとにバラバラなので、自治会規程の基準を示し、ある程度統一的な基準を示すべきである。

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
	瓜連	協働のまちづくりと言っているが、市民協働課は補助金のみで自らやる気があるのか。	・コミセン(集会所)に対する維持管理費の市の補助増 ・防災→発電機の補助 ・市課長を始め、職員は、もっとまちづくり委員会に足を運び、意見を聞くべきである。まちカフェで満足してはいけない。
(2) 誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを推進する	額田	長男が職場に近い水戸市に転居してしまった。もし、那珂市に住みたいと思っていれば、実家の跡を継いでくれたのではないか。那珂市は住みやすいまちであっても、住みたいまちではないのでは。	一定地区に小規模高齢者福祉、託児、商業施設を併設した地域センターを建設・運営する。
	額田	空き家対策	東南アジアなどの地方都市と友好関係を結び、空き家を利用して居住し、農業や地場産業の担い手として移住促進をする。
	額田	固定資産の処理	後継のいない家庭の土地、住居の売却を推進し、新住民の移住促進を図る。
	額田	空き家調査を自治会で実施したが、調査して終わりにになっている。空き家の有効利用を考えてほしい。	空き家対策の一環として、空き家をリフォームして貸し出せば、借りる人がいるかどうか、アンケート調査を試みる必要があるのではないか。
	額田	額田地域住民は我慢しているのが現状だ。市道の狭あい、小学校児童減少による統廃合問題、下水道普及の遅延、遠隔地就職等、市民を取り巻く環境は厳しい。	
	五台	那珂高、水農高、大成女子短大があるが、これらの学生は那珂市を含め、他市町村からも通学していると思う。将来、この学生が卒業して就職し、家を持つなら那珂市に住みたいと思えるような、魅力あるまちづくりをお願いしたい。	
	五台	人口を増やす計画より(すなわち高齢者保障、インフラ整備負担の軽減)、推移に見合った政策	人口減に見合った(社会保障、インフラ)まちづくり
	戸多	空き家で風が吹くと、トタンなどが飛んでくる。危ない。	
	戸多	那珂市そのものが、自慢できるほどの特徴がないためか、若い住人を呼び込むような目玉の施策を策定しにくい。他の過疎地が若者を呼び込む特典をネット等で宣伝している話を聞くが、那珂市の穏やかな環境を売りにして、もう少し財源を支出しても、大々的に本腰を入れて、長期的に情熱を投入してもらいたい。	通勤圏内で、移住する可能性のある若者もいると思うので、もう少し呼び込むための努力を傾けてもらいたい。
	芳野	当市の環境は良好 地理的条件、自然環境、職住近接、田園風景など住みよい環境は良好と思われる。	
芳野	現状: 空き家が多くなってきた。 問題点: 見知らぬ人たちのたまり場になって、犯罪につながらないか。 課題: (1)所有者が亡くなり、家屋が管理されていない。(2)所有者がいても、市内に居住していない。	解決策: 近所同士で犯罪が発生しないよう空き家を日ごろから注視する。所有者との連絡体制を整備し、コミュニケーションを図っておく。 行政へのお願い: 空き家に対する防犯対策強化。警察や防犯協会の防犯対策強化。空き家をコミュニティの施設として活用する。(モデル事業として取り組んでほしい)	

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(3) 市民との協働によるまちづくりを推進する	額田	市役所からは様々な事柄について地域で運営してほしいとの要求があり、それに努めているところであるが、地域からの要望については、那珂市は予算がないため不可能との答えでは、市民は全くやる気を失っている。	市民と行政が力を合わせ、住みよいまちづくりをするためには、地域住民がまとめた要望に対して一つでも叶えてほしい。特に生活道路を整備することにより、市民はもちろん、市外からの転入者も住んでよかった、これからも住み続けたいということになる。住民が誇りを持って生きていけるように。
	菅谷	情報の開示は重要だ。	
	五台	市民協働課でのボランティア補助増	
	芳野	座談会出席者 自治会役員に声を掛けた結果と思うが、女性の参加が極端に少ない。	
	芳野	情報のオープン化	
(4) 互いに尊重し合う社会の形成を図る		(特になし)	

2 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(1) 災害に強いまちをつくる	五台	原発事故を想定したまちづくりも必要と考える。市民の安心・安全を最優先することが大切だと思うが、特に避難先、その往路等についても、周知しておいた方がベターと思う。次元の違う項目なので、別に作成できているのか。	
	芳野	小中学校が避難場所として機能していない。那珂三中の場合、鍵は教育委員会、若しくは先生が持っているとのことで、緊急の場合、対応が遅れる可能性が大である。また、体育館に毛布等の避難グッズは何も無いとのこと。	
(2) 犯罪を防ぐまちをつくる	五台	水農～後台駅間の通学路が暗い、防犯灯の早期整備を	
	芳野 瓜連	防犯灯のLED化の早期化 各地区の重要箇所に防犯カメラが設置されていない。	早急に取り付け願う。
(3) 交通安全を推進する	瓜連	南瓜連の交差点(Y字路)は、中学生が登校時に1回で渡れない。(自転車通学生が特に危険だ)	朝だけでよいので、スクランブル方式にしてほしい。
(4) 健康で快適に過ごせる生活環境の保全を図る	芳野	芳野小学校前の道路に生ごみを捨てる人がいる。山道なので見えない。1か月に2～3回ある。	
	芳野		不法投棄、ごみの投棄が他県に比べてマナーが非常に悪い。指導が行き届いていない。原因が不明だ。
	瓜連	空き地の問題 草だらけ。	
	瓜連	瓜連の自然環境の保護及び利用について ・古徳沼の浄化 ・静峰公園を四季を楽しめる公園にしたい ・焼却場の熱利用 ・その他沼	未耕作の田んぼの活用 ・プール、温室(冬の植物預かり) ・ハスやスイレン
(5) 地球にやさしい持続可能な社会への転換を図る	瓜連	森林資源の活用(エネルギーの確保) 那珂市のみならず、県北・県央地域は杉を中心に森林に恵まれている。しかし、材木としては価値が低いと言われている。そこで、原子力発電所の事故を考慮すれば、自然再生エネルギーになり得る材木をチップにして、火力発電所の燃料とする。	・鹿嶋、ひたちなかにある火力発電所へ燃料を供給する。(現在はオーストラリアから石炭を輸入している。) ・森林を活用することになり、雇用と森林(再生可能、単一材料でなく)が活用できる。 ※大規模太陽光発電所は自然破壊になるので、十分考慮して許可願いたい。
(6) 利便性の高い交通基盤を整える	額田	那珂二中通学路の整備は、30年以上前から言われていたが、今でも拡がらず通学時の危険性が高い。消防車、救急車も入れない道路には疑問を感じる。	土地を確保した所は舗装を上げて、少しでも安全に車を避けられる所があればと思う。部分的にでも拡げてほしい。
	菅谷	団地造成の場合、侵入道路が狭い 私は、ひたちなか市に住んでいたが、那珂市に土地を購入した。那珂市が便利と思っていたが、今は、ひたちなか市の土地を購入した方が良かったと思っている。道路等も那珂市より広くなっており、今は商店等も増えて便利になっている。	団地造成をする場合は、車が交差できる幅、歩道を整備すれば、多くの方が住み、よいまちができるのでは。まずは、道路、排水等を整備する必要があると思う。住んでもらってから整備するのではなく、整備した所に住んでもらう。これが住みよいまちづくりだと思う。
	戸多	交通インフラが不十分である。	デマンド交通、福祉タクシー等の充実。新たな制度の確立を。

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
	芳野	環境、公共交通、道路について、まだまだのように思う。私の町内(中新田)の道路は、約10年前に半分くらい整備してもらったが、残りがそのままになっている。	
	芳野	インフラ、公共交通などを整備してほしい。高齢化社会が更に進んだとき、このような問題が大切になってくる。	デマンドバス
	芳野	デマンドタクシーが不人気。終了が午後4時過ぎでは、病院等で使用できない場合がある。	
	芳野	通学路に水が溜まり、雨が降ると長靴で登校しないと、靴がびしょびしょになる。	・道路の低い所を高く舗装する。 ・側溝を付ける。
	芳野	押敷交差点の高速道路北側について、自転車で行くには、フェンスと道路の距離が狭い。	道路公団に申し入れして、フェンスを高速側に引き込みする。
	瓜連	市道について 路肩に草が茂り、歩くのに危険な場所	住民が投書しなくても、交通上、危険な箇所を見回り整備してほしい。
	瓜連	デマンド交通「ひまわりタクシー」について ・利用状況 ・市費はどのくらい掛かっているのか。 ・1時間以上待つと不評を聞いている。	
(7) 自然環境を活かした機能的な都市づくりを推進する	額田	市内14地区に指定区域が素案どおり決まっても、先に魅力ある環境(道路の拡幅、雨水等の排水設備の整備)を整えないと、現在のインフラのままでは土地を購入してまでの転入は望めないし、既存集落の維持・保全是期待できない。	
	額田	那珂市が考えている一律横並びの「守りの区域指定(現状維持のための指定)」ではなく、「攻めの区域指定(住民に選択肢を与える区域指定又は特区の設定)」とすることが地域の活性化を目指す上で、ポイントになる。地域の活性化は、行政主導では絶対にうまくいかない。地区の住民が個々に行政と一緒に考えて考える場を作る必要がある。(住民ファーストがキーワードである)	
	木崎	那珂市は住宅建設の規制が多すぎるため、住宅が建たない、人が増えない、子どもがいないことにつながると思う。菅谷地区は住宅が増え、子どもが多く、木崎、芳野、戸多地区は過疎化が進む。早い段階で規制を緩和してほしい。	那珂市は市街化調整区域が多すぎるため、人口が増えない。規制緩和を早急にお願したい。
(8) 安定的に水道水を供給する		(特になし)	
(9) 効率的に生活排水を処理する	額田	額田地区は一部しか下水道が完備されていない。これでは子どもたちに「額田に住め」とは言えない。生活基盤で重要な下水道がなぜ遅れているのか。菅谷を中心に資金投下するのではなく、額田地区に早急な下水道完備を要望する。	基本的な生活基盤にアイデアはない。地道でも着実に推進すること。子どもたちが額田地区に住まないのは、下水道の関係が一因である。
	菅谷	インフラ整備の不公正さを感じる。農振地域は遅れている。(下水道・道路)	

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
	五台	下水道の整備	自宅の周りに5~6軒家が建った。下水道がないため、合併浄化槽を設置している。余計な経費負担となっている。
	戸多	生活排水について 私の家は、くみ取り式なので、小場江に生活排水が入ると思う。米に影響すると子どもたちの体も悪くなる。心配だ。	戸多にも早く下水道をお願いしたい。
	芳野	飯田地区に住んでいるが、下水道がないので、農業用水と下新田地区の下水が一緒になり、豊喰地区に流れている。不衛生で床面が土のため、毎年、土の陥没があり危険だ。用水・排水の床面コンクリート化等を要望する。	
	瓜連	下水道・道路の整備が遅れている。	今後あと何年で完了するのか。目標を立ててほしい。
	瓜連	旧瓜連下大賀地区(JR静より北側)は、広域下水道がなかなか通じない(広域なるがゆえに費用が掛かる)	広域下水道と農業集落排水をドッキングできないか。(国交省と農林水産省との関係調整)

3 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(1) 安心して子どもを産み育てられる環境を整える	五台	子どもたちの遊び場所が無く、外での声が聞こえないため、元気が無い。	空き地(山林、畑等)を無償借用し、遊べる敷地の確認。
	五台	・保育園数の増加 ・学童保育の充実 ・小児科の充実 少子化となっているが、結局、女性が子どもを産み育てていける環境をつくらなければ、少子化は改善されないのでは。	
	五台	子育て支援を充実してほしい(助成金、医療)	
	戸多	少子化対策 妊娠出産の前に、結婚をしなければ子はいない。男女の交際の問題がある。	男女の交際を自ら進んでいくという人が少ない気がする。だから嫁がない。私の地域では、軒並み独りの男性が多い。独身男性が集まれるような機会があると良
	芳野		少子化の歯止めは、働く場所の確保が第一優先だ。働く場所と保育所の隣接化(ヤクルトが見本)。
	瓜連	子育て中の世帯の意見聴取	保育所と幼稚園の統合
(2) 高齢者がいきいきと暮らせる環境を整える	五台	一人暮らし高齢者の引きこもり防止について	・隣近所(3軒)の呼び掛け(安心・安全につながるとともに、共生の認識を植え付ける) ・自治会の公民館、空き家を利用し、話し合いの場を作る(カフェ)
	戸多	常日ごろ、ご苦労様です。 自助・共助・公助は高齢化と共に、難しくなっていくように思う。どうなっていくのか心配だ。	初期の認知症の方がサロン(カフェ)で交流、運動ができるような場があればよいと思う。
	芳野	高齢者の人材活用センターの積極化が必要。	
	芳野	現状:一人暮らしの高齢者が多くなってきた。 問題点:高齢化が進んできた。 課題:(1)市民として情報が入ってこない。 (2)病気や災害時の支援制度が確立されていない。	解決策:担当者を配置し、情報を直接伝える。敬老会等に参加するよう積極的にPRする。 行政へのお願い:市に協力要請する。民生委員や高齢者クラブに協力要請する。 一人暮らしの高齢者が安心して施設に入れるような施策を展開する。
	瓜連	高齢者の働く場所、楽しみの場所が欲しい。	
(3) 障がい者が地域社会で安心して暮らせる環境を整える	瓜連	障がい者のための道路、点字ブロックが余りない。	
(4) 家庭や地域で支え合う福祉環境を整える		(特になし)	
(5) 適切な医療が受けられる環境の充実を図る		(特になし)	

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(6) 健康で生きがいをもって暮らせる保健体制の充実を図る	瓜連	要介護者をつくらず、社会保障費を削減するために、食生活改善推進員として、食に関して気がかりなことがある。塩分・糖質の取りすぎについて。飲食店メニューの塩分は、1食当たり5～6g使用。加工食品、糖分、塩分の表示をしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・加工食品やレストランの食事の塩分を減らす。 ・レストランを1軒1軒訪ねて指導し、5～6店賛同してもらった。 ・レストラン、学校給食で指導する。 ・健康寿命を保って長生きするために、食事の前に野菜を食べる。

4 未来を担う人と文化を育むまちづくり

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(1) 豊かな心を育む学校教育の充実を図る	額田	国際化に伴う対応	現在の英語(文法)教育から日常英会話授業の推進へ
	額田	小学校の統合がある中で、学校が住民の集いの中心だと思う。	統合だけがベストな案なのか。小学校のない地域に転入は難しいと思う。(人口増加、発展)
	額田	児童数減少に伴い幼稚園の統合は現実に行われており、小学校も統合されるのではと、住民は不安を感じている。幼稚園は無い、小学校も危ないでは、歴史ある額田地区というだけで、若い世帯が増えることはとても望めない。	
	瓜連	瓜連小学校第2グラウンド(旧瓜連グラウンド)は、那珂協より移管されて除草剤が散布できない。(学校で本当に管理できるのか。)	従来どおり除草剤が散布できるようにしてほしい。(せめてトラック部分だけでも草が生えないようにしてほしい)
	瓜連	学校校庭の開放について授業が終わると早く帰すことしか考えていない。	児童のコミュニティ・友情等はどこで得るのか。
(2) 未来を担う青少年の健全育成を図る	芳野	子どもたちとの交流の機会が少なくなっている。(特に子ども会の会員数の減少が著しく、各種行事への参加を辞退されている。)	子ども会への加入促進を学校関係者(市、教員、PTA)から強力に推進してもらうことが未来を担う青少年の育成につながると思われる。
	芳野	現状:少子化で子ども会の運営が難しくなっている。 問題点:子ども会に入会しない。 課題:(1)保護者とのコミュニケーションが図れていない。(2)子どもの目から見た安全・安心な地域の点検がされていない。	解決策:子ども会会長や保護者の意見を集約し、防犯対策を立案する。(安全・安心マップを作成する) 行政へのお願い:市に協力要請する。警察・各団体に協力要請する。
(3) 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える	瓜連	1,000人以上集まれるホールがない。(例:敬老会など数年毎に合同で)	早急に検討願う。
(4) スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える	木崎	子どもたち、地域の方々がスポーツを行う場所が少ない。サッカー場、野球場、陸上競技場を造ってほしい。	那珂インターを利用しやすい場所はたくさんあると思う。 土地を利活用すれば、那珂市に地方の方が来ると思う。税收も上がると思う。お店もできると思う。人口も増えると思う。
(5) 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る	額田	額田地区の魅力を考えたとき、額田城跡、阿弥陀寺の夜桜、額田祭、額田神社(鹿島八幡神社)等の文化的財産がある。こうした財産を維持し、後世に残すだけでなく、今後は県内あるいは国内外にアピールし、その存在価値を地区住民と共に共有してほしい。	額田城址でのイベント開催。(ウォーキング、夏祭り、収穫祭など)まちづくり委員会を中心に商工会や婦人団体、青年団などと連携協力し合って実施する。 ※イベント会場となる額田城址までの道路が狭いこと。コミュニティ広場が整備されていない等の課題がある。
	額田	額田城跡のアピール	ホームページの充実、城跡でのイベント、城跡ののぼり旗作成(祝祭日、イベント開催日、催事の時などに掲揚)

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
	額田	コミュニティ広場から額田城跡に至るまでのルートを整備できないものか。	額田城跡までの経路として、現在5つの経路があるが、どの経路も道路が狭いなどの問題がある。そのため、駐車場(コミュニティ広場予定地)からのルートができると、大型バスやマイクロバスで駐車してから城跡までの距離が短いので、高齢者には便利である。 ※地権者との協議、城跡の堀にルートを造るため、景観が損なわれる等の課題もあるが。
	瓜連	静古道について 静ため池～古徳～下江戸の古道歩く会を実施しているが、大変道が悪くて車も通れない。歩くのも大変である。至急対策してほしい。	
(6) 多様な文化と交流する機会の充実を図る		(特になし)	

5 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(1) 活力ある農業の振興を図る	額田	耕作放棄地が増えている。	農業法人なり農業に興味・関心がある方たちに有効活用してもらう。
	額田	耕作放棄地の増加: 雑草や害虫、鳥獣が増え、周辺農地に影響を及ぼすとともに、景観を悪化させている。また、不法投棄がされやすい状況になっている。	農業法人(株式会社)を誘致し、ICT技術等により農業を活性化し、若者の雇用の促進を図る。(安定した収入が得られる農業にして、若者を定着化させる)また、高齢者のパート雇用等により、農業技術のノウハウ等の蓄積を図る。
	菅谷	市の主な産業は農業だと思う。高齢化が進み、田畑の耕作放棄が多くなり、若い農業者が定職しない。なんとか今のうちに手を打たないと、食生活の根本が崩れてしまう。	まだ市街化調整区域があり、幹線道路に接する場所があるので、そのような所へ「道の駅」的なものを建設してはどうか。
	戸多	田畑を耕作する人がいなくて、草がそちこち生えている。空堀だけで、何も作れず、もったいない。	
	芳野	使っていない田畑は、草が生えているようなので、もし農業をする人がいたら、やっていけるようにしたらどうか。	
	芳野		つくばの食品総合研究所で開発を進めている米ペーストを使用した食品(アイスクリーム(ジェラート)、菓子、ケーキ等)の工場(加工所)への支援
	芳野	田んぼの耕作者の高齢化が急速に進む＝不耕作者の増加	・農協と市が連携して、耕作面積の大規模化推進。面積の大規模化への補助拡大。 ・農業指導員の情報提供(住環境の整備、調整区域の解除は有効)
	瓜連	しどりの湯について いつまでそのままにしておくのか。 地域の皆さんの意見は再開してほしいとの要望だ。	赤字解消には、人件費の削減が第一の問題と聞いている。食堂はなし。入場券は自動販売。うどん、そばは自動販売とする。以前は従業員11名。今後はボランティア1名、その他3名で営業できるのではないかと。 2,000万円の赤字だと知っているのか。多少の赤字は健康づくりと思って再開してほしい。(常陸太田市では、太田の湯を行っているのではないかと。)
(2) 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る	額田	額田地区にない店舗の誘致はできないか。	額田地区には各店舗があるが、よそからのお客様や新たな住民を迎える可能性があることを考えると、地区にはない店舗があるとよいと思われる。
	菅谷	移住・定住を促進するためには、雇用を確保することが大切だ。優良企業の誘致や大型商店の誘致に重点を置いてほしい。	
	五台	企業誘致方策(雇用と財政)	企業誘致が無理なら、6次産業化による雇用・産業の推進
(3) 地域資源を活かした観光の振興を図る	額田	額田の飲食店や食堂を活かせないか。	額田地内のお店と連携して、額田グルメ巡りを額田城跡や阿弥陀寺の桜散策コースと併せて実施する。
	額田	額田の文化的財産を活かせないか。	

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
	額田	<p>少子高齢化:このままいくと5年後は額田小学校は廃校になる。(現在、児童数は206名、毎年約20名ずつ児童が減少)</p>	<p>観光:額田城を核として、イベント(夏祭り、ビール祭り、収穫祭、節分祭等)や行楽(額田城ウォーキング四季めぐり:桜、もみじ、四季の花等)を計画する。なお、今後設置を予定しているコミュニティ広場は、これらに対して有効に利用できるよう配慮する。</p> <p>グルメ:七運をテーマに地元の新鮮(朝採れ)な旬の野菜を使って、大手の飲食店にはできない「ブランド食」を作る。</p>

6 行財政改革の推進による自立したまちづくり

施策	地区	まちづくりについて、日ごろ感じている課題	課題を解決するためのアイデア
(1) 効果的・効率的な行政運営を推進する	額田	基本構想に対しては、市内部の協力・連携体制が具体的に示されれば、市民の理解・協力が得られると思う。	
	額田	まちづくりは、区域指定、耕作放棄地の対策(景観の改善)等と密接に関係するので、行政側は、縦割りではなく、横の連携が重要になる。市役所内に全体を一手に調整する組織が必要と考える。	
	額田		計画は従来のような「絵に描いたモチ」では、意味がない。実効性があり、インパクトのある計画にして、各地区間の競争力を促すようにする。横並びの計画は避ける。(この地区は変わった、市役所は変わったという実感が沸く)
	菅谷	基本計画策定時は、できるだけ具体性を盛り込んでもらいたい。	
	戸多	地域間交流が無い。	行政間でお互いのPR活動をする。近隣の道の駅などを活用してはどうか。
	瓜連	行政は横のつながりを持ってほしい。	
(2) 健全な財政運営を図る	額田	公共施設の存続(無理のない生活環境内にあること)	人口維持、増加の政策は遂行しつつも、現実的に住民はそれほど実感していないと思われる。直接的な支援と対外へのアピール度を向上へ。 ・住宅居住補助金(子育て夫婦世代へ) ・子育て世代への福祉支援、悩みごと相談などの充実
	戸多		旧戸多小学校校庭の利用について、サッカーや野球を常時利用できるように進めてほしい。人が集まれば活気が出る。
	芳野	施策の大綱の各項目を実施するとなると、財政基盤はどうか。給与所得者、農家からの税収、固定資産にしても評価額も低く、資産税も大きく財政に寄与できないと思われる。	結局は交付税頼みの市運営となる可能性あり。第2次計画が計画倒れにならないよう祈願する。投資効果、費用対効果を第一に。
(3) 多様な行政サービスを提供する	芳野	アンケート結果について 回答率…市街化区域の菅谷が36.61%、芳野地区を含む三中学区合計で15.76%以上を考慮すれば、市の現状と今後のまちづくりの取り組みは、回答者の意見を重点に考えることなく考察願う。	
	芳野		課題を書面化して窓口へ持って行った時、受付年月日、受付番号を付与する意識を持っていなかった。市民の声を聴くときは、市のフォーマットを強要しないで、応用したやり方をしてほしい。